

未来の富士吉田市を見据えて…

未来を実現するリーダーシップ、夢を現実に…

(仮称)富士吉田南スマートインター

「東富士五湖道路に接続道路があれば富士吉田市の利便性はますます良くなる」と発案し、長崎幸太郎衆議院議員（当時）と個人的に会合を重ね賛同を得たのち一般質問等を通して市に提言をし続けた結果、市長ならびに恩賜林組合また関係各位様にはご尽力をいただき2020年に実現する運び（予定）となりました。この事業は同時に138号拡幅事業やリフレフジよしだ、剣丸尾西地区の整備事業と組み合わせることによって富士吉田市への集客アップに繋がるものとして期待しております。

更に富士見バイパスや東富士五湖道路側道と横町熊穴線外二路線などの道路を有機的に結び付けることで利便性が更に良くなります。防災の観点からも市民の安心・安全に寄与することになります。

以上の積み残された課題を継続して前進させる責務が私にあると思っております。

また、将来開通するリニア新幹線駅までのアクセス道路整備や富士山災害時の更なる防災のありかたを長崎幸太郎知事に要請し、富士吉田市の未来に寄与するよう積極的に県へ働きかける所存です。

定住促進（Iターン・Uターン等々）

現在、どこの自治体でも問題となっているのが人口減少です。しかしその解決策は容易ではなく、いろいろな人がいろいろ考えていますが、まだ決定的な道筋ができていないのが今の現状であることは周知の事実でしょう。

若者が外に向かうことは基本的に良いことです。問題は「なぜ将来戻ってこないのか？」の本質に関わるデータ分析がきちんとできていないことかもしれません。働く場がない、一度就職した会社を辞められない、地元には魅力的な仕事がない、など理由は様々でしょうが、一度外に出た人の追跡調査や移住してきた人の調査が不足しているなら「市がどんなに企業誘致をしても魅力ある仕事がなければ人が集まらない」ということにも通じ、データがなければ対策も難しいと思います。

そして、その調査の結果から富士吉田市の立地に合う企業とは何か？どのような条件なら魅力ある企業を誘致できるか？…を戦略的に実行していく必要があります。私は富士吉田市の資源があるなら福利厚生の充実を求めるIT系の大手企業も研究開発に特化した大手企業も誘致できると思えるのです。

以上のことから山梨県にも連携を働きかけ、様々な調査を実施した上で市の内部に専門の対策チームを創設し、県と密接に連携することが必要だと考えます。



未来を実現するリーダーシップ、夢を現実に…



横山ゆうじ



横山ゆうじ プロフィール

公選職歴

富士吉田市議会議員（三期）
文教厚生委員長 / 総務経済委員長 / 建設水道委員長
市議会副議長 / 決算特別委員長
富士五湖広域行政議会運営委員長
富士吉田市議会運営委員長 / 富士吉田市監査委員
富士吉田市外二ヶ村恩賜国有財産保護組合会議長
平成21～27年 北稜高校学校評議委員
平成22年度 富士吉田市立吉田中学校PTA会長
平成24年度 富士吉田市立吉田西小学校PTA会長
富士吉田市PTA連合会会长
昭和38年6月4日生 座右の銘「為せば成る」
市議会会派「みらい」に所属

URL <http://www.kotaro.vc/>



為せば成る

為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり

横山ゆうじ座右の銘

2005年 国政選挙にて長崎幸太郎候補に共感、「Team幸太郎」を仲間と立ち上げる。以来、14年以上公私にわたってプレミアム支援を続けていきました。



2007年 県知事選挙にて横内正明候補支援。



富士吉田の未来を考え市議会議員になることを決意し、Team推奨のもと立候補しました。

初当選以降、横山の信念は一度たりともブレていません!

■市民の請願・陳情 中原歩道橋補修工事

市民の要望を受け通行不能になっていた国道139号中原歩道橋補修を児童の安全の面から強く国交省と市に要請。その結果、現在も住民の安全の懸け橋として使用されています。

第二小学校グランドと鐘山グランドトイレ改修

イメージの悪かった両グランドトイレ改修を積極的に支援いたしました。

■地域医療

小児初期救急医療センターの富士吉田市誘致

子育て世代の声から郡内の小児救急の空洞化を危惧し誘致活動に取り組んだ結果、小児救急センターを横内知事ならびに市長や医師会など関係各位協力のもと市内に開業することが決定しました。



市立病院へのがん治療機器リニアックの整備

新規リニアック整備が早期になされていない現状を憂い、市長ならび議長らとともに訪庁し財政支援要請。恩賜林組合の協力のもと市立病院にて運用開始しました。

2007～2011年 市議会議員一期目

20011～2015年 市議会議員二期目

20015～2019年 市議会議員三期目

■市民の安心・安全

除雪と雪害対策

大雪時には業者間の垣根を越えた除雪作業を提言しました。また、全市一丸で行う自助・共助・公助の仕組み作りを提案した結果、市長にはご尽力をいただき、タイヤシャベル大中6台、通学路用に小型除雪機24台を配備できました。



■子供たちの教育環境充実

小中学校のトイレ洋式化

要望の多かった小中学校のトイレ洋式化を提言した結果、市長理解のもと4年間で8.6億円の予算が付き平成26年度から30年度までに全校設置終了しました。



会派(みらい)を通して

安全な通学路の確保、子育て事業の支援、給食センターの充実、市内保育園の芝生化などを積極的に取り組み実施しました。

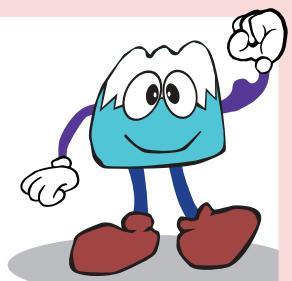
議員になって1年目から…

■横山のライフワーク

ふじよしだ市の資源を生かした政策提言

富士吉田には他地域に負けない環境と景観という資源があります。その資源を念頭においた知恵で本市の未来を創造し、定住促進、安心・安全なまちづくり、子育て教育の充実、等ができないか模索を始めました。

その柱のひとつとして、東富士五湖道路に接続道路を開通させ、道の駅と連結することによって街を有機的に機能させることの提言を通して長崎幸太郎衆議院議員（当時）の賛同を得て大きな夢が走り始めました。



■横町バイパス南の開発ならびに富士吉田市の発展へ… 市道横町熊穴線外二路線の整備事業

陳情道路であった当該路線を防災の観点から富士北麓公園まで政策道路へ格上げするお手伝いをさせていただきました。これによって市民の安全を円滑に守ることができる予定です。

剣丸尾西地区の事業推進

新たな産業誘致を目指し、地域の起爆剤となるよう積極的に県と連携して推進していきます。

リフレフュージョナリティと国道138号の有効活用

東富士五湖道路にスマートインターを設置する発案以来、リフレフュージョナリティ、国道138号、更に富士見バイパスから新倉トンネル並びに富士吉田西桂スマートインターを有機的に結び付け防災の強化と本市の資源を生かした魅力発信を山梨県と連携して提言し、魅力ある富士吉田市に向けて行動しております。



継続・推進



長崎幸太郎知事ならびに
市長をはじめ関係者皆様のご尽力をいただき、

(仮称)富士吉田南スマートインターチェンジ
が2020年完成予定になりました!

横山ゆうじの議員生活を通した
夢の一部が具体化しました。

その先へ